



# 第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師

前奏  
頌栄  
主の祈り  
プレイズ  
聖書朗読  
祈禱  
賛美  
メッセージ  
祈禱  
賛美  
献金  
報告  
頌栄  
祝禱

540  
「シャイン・ジーザス・シャイン」  
「すばらしい主を」

創世記 35 : 1~15  
(旧約聖書 P59)  
新生讚美歌 14  
「神との出会い〜ベテル」

聖歌 570

新生 672b

会衆  
会衆  
会衆  
司会  
司会  
会衆  
牧師  
牧師  
会衆  
司会  
会衆  
牧師



# 第二礼拝次第 (英語礼拝)

メッセージ: アドリアン・アルセ師

司会: イゼキエル・アルセ兄 奏楽: 郭永東牧師

プレイズ: 「Majesty」 「In his time」  
「Give thanks」 「Amazing Grace」



# ファミリー礼拝

お話し: 伊禮信義先生

聖書: 使徒 13 : 26~31

メッセージ: 「伝道旅行の始まり」

## <巻頭言>

「サミル宣教 2025 夏」

牧師 渡真利彦文

「だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」  
マタイ 28 : 19-20

2025年夏のサミル宣教がいよいよ今週水曜日(30日)から始まる。総勢26名と聞いている。今回のサミル宣教は例年と違い、前半は北山荘で祈りと交わり、後半は胡屋教会で礼拝を中心に「主にある交わり」と、伝道となる。

さてサミル宣教の意義は何だろう。サミル宣教を通して教会間の交流はもちろん、日韓の交流、それは歴史や文化、そして人的交流と発展する。その中でもっとも大切なことは、マタイ福音書28章のイエス・キリストの大宣教命令に包括されている。

その大宣教命令の中心は二つある。第一は「すべての民を私の弟子にしなさい」という弟子づくりにある。第二は全世界に向けた福音宣教への主の命令である。それはひとりがひとりをキリストの弟子とする、いわゆる弟子化によって、確実に、しかも速やかに達成される。

弟子化こそ伝道の目的であり、伝道の手段となる。サミル宣教は福音の種を蒔くことであり、そして蒔かれた種の成長、すなわち弟子化を私たち胡屋教会は力を注いでいくことになる。

伝道のために、どんなに投資しても、しすぎることはない。しかし、この弟子化の視点を忘れてはならない。神の計画は必ず成就する。信仰を働かせ、大宣教命令に従いましょう。